**最終回 ＦＲ式不登校対応チャートワークショップ**

**教師が、支援者が取り組む不登校対応の実際**

**不登校という用語の生みの親　花輪敏男先生による渾身の2泊3日22.5時間**

確保法を受けて、文科省は令和元年「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」において不登校の理由に応じた働き掛けや関わりの重要性について、「**不登校児童生徒が、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、**児童生徒自身を見守りつつ、不登校のきっかけや継続理由に応じて、その環境づくりのために**適切な支援や働き掛けを行う必要がある**」と明確に述べています。同じく文科省(2018)の不登校追跡調査では、不登校経験者の直接の声として「学校に行かなかったことを後悔している」が「行かなくてよかった」を上回りました。本当は学校で楽しく過ごしたかったのです。子どもにとっての「社会」である学校で、いろいろな事情やちがいのある子どもが集まって生き生きできることこそ、本来の学校のあるべき姿ではないでしょうか。

**コロナ禍で増え続ける不登校**を「新たな傾向」とみる向きがあります。しかし花輪(1991)は不登校を「ガソリンの少ない自動車」にたとえ、「カウンセリングは『ガソリンを入れる働き』があるので、子どもは落ち着いて、エネルギーも回復してくるが、適度に動かすこともしないとバッテリーがあがってしまい、いざ動こうというときに動けない」と指摘しています。コロナ禍の不登校の増加は、潜在的に緊張や不安の高い群の子どものバッテリーがあがってしまったためとみています。それに対応するのは日常的に接することができる学校の教師（担任）が適しています。ワークショップでは「目からうろこが落ちる」具体的で細やかな「かかわり」が示されます。

**不登校をどう見るか。「認識が変われば、対応が変わる」。**不登校は怠けやさぼりではなく、学校に対する「すくみ反応」です。子どもの周囲の大人の認識を変えることから始まります。子どものつらさをよく理解し、無理をさせず、一番の味方となって支える対応に変わります。

**不登校の最終的な解決とは「自分で決めて、自分で考え、自分で行動すること」**

自立を目指して具体的な人間関係作りの中で育つことで、結果として登校するようになる子どもはたくさんいます。

**花輪(1991)は「子どもは答えを求めているのではない、温かな関係に支えられ、悩みや夢を語り合うという関係そのものが子どもにとっての力となる」と述べています。**

**不登校対応には道筋があります。子どもの状態・成長に合わせて、今どういう状況にあるのか、何をどうすればいいのか具体的にわかり、これからの対応に見通しが持てます。**

**教師との温かな人間関係の中で、子どもも教師も自立に向けて成長し、共に育ちます。**

**22.5時間たっぷりと余すところなく受講することのできる最後のチャンスです。**

これまでのワークショップ受講者は約400名。日本全国からご参加いただいています。

初めての方も再度参加したい方も、この機を逃さず花輪先生のもとにご参加ください。

最終回　第1６回　ＦＲ式不登校対応チャートワークショップのご案内

　　教育機会確保法後、ますます増え続ける不登校。教師と子どもの温かなかかわりは重要性を増しています。日本で唯一の不登校対応ワークショップ。「不登校」という用語の名付け親である花輪敏男先生による、いちばん古くからあり、いちばん新しい、もっとも具体的な不登校対応の決定版「ＦＲ式不登校対応チャートワークショップ」最後のこの機会にぜひご参加ください。

■期　　日　２０２３年１月７日（土）・８日（日）・９日（月・成人の日）２泊３日

■会　　場　マホロバマインズ三浦　　　京浜急行　三浦海岸駅から徒歩７分　送迎バスあり

■目　　的　不登校の子どもの学級復帰にむけた対応の理解と習得。

　 　　学級担任が不登校の子どもの気持ちを理解することが学級復帰の大前提です。

　　　　　 不登校の子どもや保護者の気持ちを理解し、子どもや保護者が日常的に抱える不登校生活特有の悩みに対して、こんなときには？どうしたらいい？が演習を通して具体的に身につきます。

　　　　　 発達障害の理解と支援教育の具体的対応をベースにチャートを展開します。

■内容例 　・引きこもり生徒へのアプローチの仕方・・・昼夜逆転にも意味がある？

　　　　　　　・家庭訪問での配布物の渡し方・・・仲のよい友人をつかうことはタブー？

　　　　　　　・いよいよ教室復帰の瞬間・・・「教室にはいるときは、左足から入るんだよ。」など

■主　催　神奈川県教育カウンセラー協会

■対　象　小・中・高等学校の教職員、教育相談・生徒指導担当者、教育委員会関係者、

支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、相談員、相談機関、

　　　　　不登校のお子さんのいる保護者の方々、不登校にかかわるすべての人

■定　員　３０名

■講　師　花輪　敏男氏　神奈川県教育カウンセラー協会顧問

ＦＲ教育臨床研究所所長 共栄大学客員教授

■参加費　４９,０００円（４名１区画、宿泊・食事代・資料代・懇親会費込み）

一区画に複数の和洋寝室、居間、ダイニングキッチン風呂付マンションタイプを４名でシェアします。

全日参加不可の方、同室不可の方、日帰り希望の方、お気軽にご相談ください。

■申し込み　所定の申込用紙を記入の上、受付時間 ８：００～２１：００に送信して下さい。

　　　　　　「神奈川県教育カウンセラー協会」ＦＡＸ専用　０４４－５６７－４９１８

■主な日程

|  |
| --- |
| １月７日（土）受付12:00　～ 開講式12:30　　懇親会・情報交換会20:45～22:00  講　義　①13:00～15:00　　　　　　　　　　　　(受講時間に含みます)  ②15:30～18:00　 　９日（月・成人の日）  ③19:00～21:00 ⑧9:00～12:00  ８日（日） ④ 9:00～12:00　 ⑨13:00～15:00  ⑤13:00～15:00 閉講式 15:00～15:15  ⑥15:30～17:30　 解散予定 15:15頃  ⑦18:30～20:30 （ 受講時間　合計22.5時間 ） |

■関連図書　「エンカウンターで不登校対応が変わる」２０１０　図書文化社刊

■ＨＰ　　　神奈川県教育カウンセラー協会ＨＰ <http://www.keca.jp/>　　Facebook

　　　　　　ＮＰＯ日本教育カウンセラー協会　https://www.jeca.gr.jp/

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会　http://jsca.guide

ＦＲ式不登校対応チャート研究会 https://www.facebook.com/frfutoukouchart/

**不登校対応チャートワークショップ参加申込書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名・年齢 | （　　　　）歳 | 性  別 | 男  ・  女 |
| 自宅　住所 | 〒 | | |
| 自宅連絡先 | ＴＥＬ　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ | | |
| 受講に際しての  連絡先（携帯等） | ＴＥＬ・ＦＡＸ　　　　　　　　メールアドレス | | |
| 資格等 | □NPO日本教育カウンセラー協会認定カウンセラー  □スクールカウンセリング推進協議会認定ガイダンスカウンセラー  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） | | |
| 勤務先 | 名称    所在地　〒 ― | | |
| 勤務連絡先 | ＴＥＬ　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ | | |
| 参加動機  あなたの思いや願いをできるだけ詳しくお聞かせください。 |  | | |
| アレルギー等  食事についての配慮が必要な方はお知らせください |  | | |
| 希望する係  どれか１つの  番号にマルを  記入して下さい。（ご希望に添えない場合もあります） | １ 学習環境係　 　資料を配布したり、室温を管理したり雰囲気を見て席替え  するなど学習環境を整えます。  ２ 音楽係　 感じのよい音楽を自宅より持参し、休憩時間等に流します。  ３ 保健係　 軽い体操等で疲れを癒やし、受講者をリラックスさせます。  ４ スナック係　 休憩時間の湯茶、スナック類の用意をします。  ５ コンパ係　 懇親会の楽しい運営企画、時間管理と司会進行をします。  ６ 点呼受付 係　　初日の受付と各セッションごとの点呼をします。 | | |